

BeFine!

第47期

期末株主通信

2013年4月1日～2014年3月31日

証券コード 6869

特別企画・社長に聞く【シスメックスQ&A】…………… 3ページ

さらなる成長に向けて——

2014年3月期の取り組み

シリーズ・現場のチカラ [1]…………… 7ページ

医療現場が求める 価値を追求して



スレイマニエ・モスク(トルコ)

売上高は14期連続増収、 営業利益は13期連続増益を達成しました。

第47期決算のポイント

ポイント ① 円安の影響もあり、海外を中心に二桁増収を達成

ポイント ② 増収効果に加え、原価率の改善などにより利益が増加



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当社グループの2014年3月期 通期の業績は、円安の影響もあり海外を中心に二桁成長を達成しました。また、増収効果や原価率の改善などにより増益となり、売上高と全ての利益において過去最高を達成しました。売上高は前年同期比26.8%増、営業利益は同50.8%増、経常利益は同47.0%増、当期純利益は同45.2%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比9.6%増、営業利益は同5.6%増を達成したこととなります。

国内は、ヘマトロジー分野*の売上が減少したものの、ノンヘマトロジー分野*での売上が伸長し、横ばいとなりました。海外は、ヘマトロジー分野を中心に売上が好調に推移し、全ての所在地で二桁増収を達成しました。特に中国では、一部で販売停滞の影響を受けながらも、ヘマトロジー分野、血液凝固分野で試薬を中心に売上が伸長し、売上高が前年同期比48.4%増と大幅な増収を継続しました。これにより、当社グループの海外売上高比率は78.2%となりました。

配当につきましては、1株につき42円(中間期21円、期末21円)を予定しておりましたが、12円増配し、年間54円を予定しております。これにより12期連続の増配となり、連結配当性向は27.1%となります。今後も継続的な安定配当を目指してまいります。

2015年3月期の通期連結業績見通しにつきましては、売上高2,100億円、営業利益360億円、経常利益360億円、当期純利益220億円を計画しています*。また、配当につきましては、年間1株につき56円を予定しております。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

*為替レート：1USドル=100円、1ユーロ=135円で算出



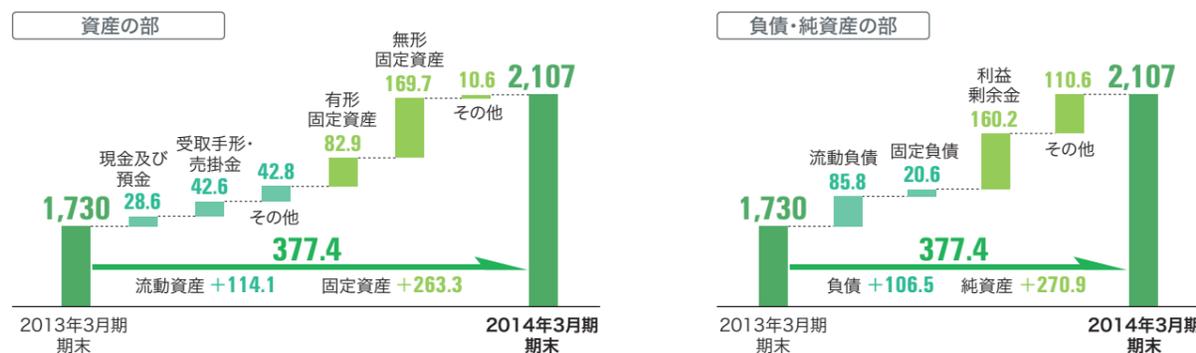
代表取締役会長兼社長

家次恒

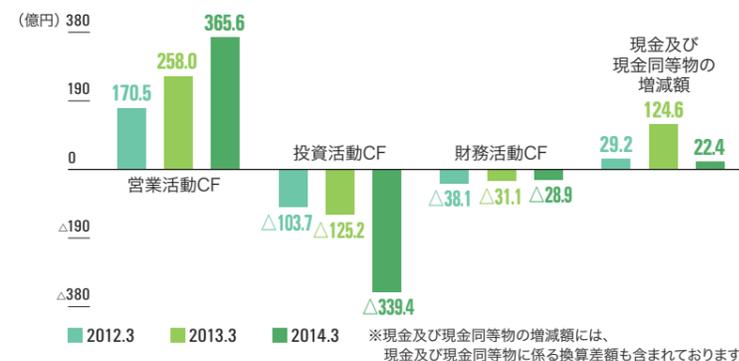
いえつく ひさし

【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。1996年に代表取締役社長、2013年に現職に就任。
【趣味】読書、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」

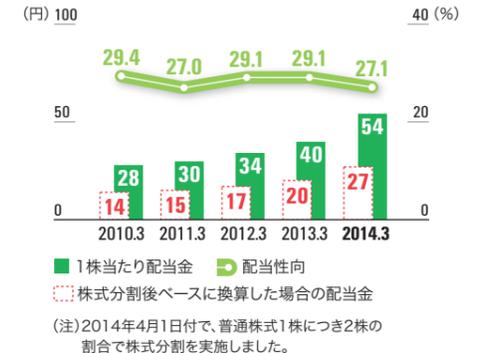
●貸借対照表の増減要因 (億円)



●キャッシュ・フローの推移



●1株当たり配当金/配当性向



※本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

*ヘマトロジー分野:血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*ノンヘマトロジー分野:血液凝固検査、免疫検査、尿検査、生化学検査などのヘマトロジー分野以外の検体検査分野。

さらなる成長に向けて— 2014年3月期の取り組み

この1年で、シスメックスは大きな成果をあげるとともに、次の成長への布石となる取り組みを進めました。主な内容について、社長の家次がご説明します。



Q さらなる成長に向けて、2014年3月期に取り組んだことは？

A 「個別化医療」の実現に向け、ドイツ企業2社を買収し技術基盤を拡充しました。

ヘルスケア分野における技術革新はめざましく、今後は一人ひとりに最適な医療を提供する「個別化医療」の実現が求められます。この「個別化医療」の実現には、最先端の高度な技術が必要です。そこで、当社は2013年9月に独自の技術を保有するドイツ企業2社を買収し、技術基盤を拡充しました。当社の技術に、フローサイトメトリー*技術のパイオニアであるパルテック社、血液からがんなどの病気を検査する最先端の分子診断技術に強みを持つアイノスティクス社の技術が加わることで、個別化医療の発展に貢献する新たな価値の創出を目指しています。



Q 海外におけるビジネスの拡大は？

A 今後の成長が期待される国々を中心に販売・サービス体制を強化しました。

まず、近代化や人口の増加に伴い、市場の成長が期待される新興国での取り組みが挙げられます。ロシアでは、現地法人のオフィスの移転と研修施設の新設により、サービス&サポート体制を強化しました。また、医療需要が高まるトルコに現地法人を設立し、直接販売体制を構築しました(6ページ参照)。一方で、先進国である韓国にも現地法人を設立し、現地のニーズに沿ったサービス&サポートを行っています。このように、地域ごとに最適な販売・サービス体制を整備して事業を拡大するとともに、世界中の医療の発展に貢献していきたいと考えています。



Q 新たな事業や地域への展開を行いながら、高成長を続けている要因は？

A 長期的に安定した収益が得られる構造を確立しているからです。

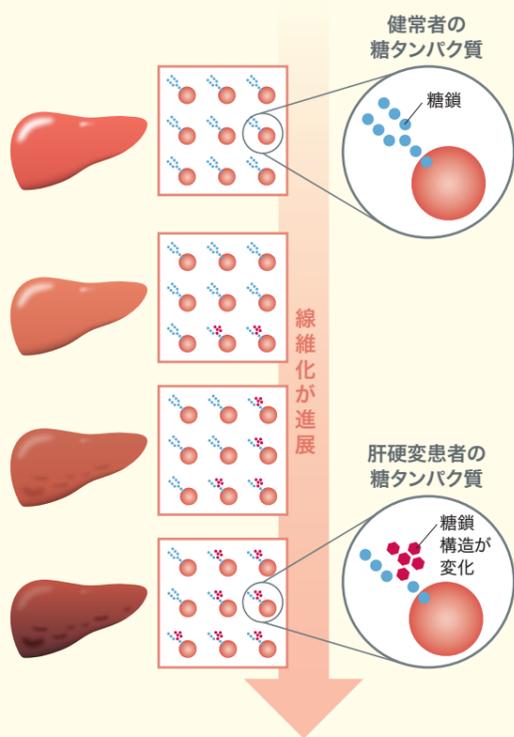
プリンターとインクの関係と同じように、シスメックスの検査機器は購入していただいた後も、検査のたびに専用の試薬が必要になります。また、当社ではお客様に安心して製品をお使いいただくためのサービス&サポートも提供しており、このことが安定した収益を生み出しています。機器の販売後も、継続して試薬とサービス&サポートの売上が伴うためです。また、売上高全体の約7割を占める試薬とサービス&サポートなどは景気の影響を受けにくく、より安定的に収益が得られる仕組みとなっています。



Q シスメックスが独自に開発した新技術は？

A 糖鎖マーカー*を用いた肝臓の線維化検査技術を世界で初めて実用化しました。

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) のプロジェクトの成果をもとに、独立行政法人産業技術総合研究所と共同開発を行い、世界で初めて糖鎖マーカーを用いた肝臓の線維化の進行度を血液検査で判定する技術を実用化しました。この技術は、慢性肝炎から肝硬変へと至る病状の変化を、肝臓の線維化の進展から判定するもので、糖鎖マーカーを用いた技術としては、世界初の実用化となります。従来の生体検査と異なり、採血のみで測定できるため入院を必要とせず、患者さんの負担軽減が期待されます。



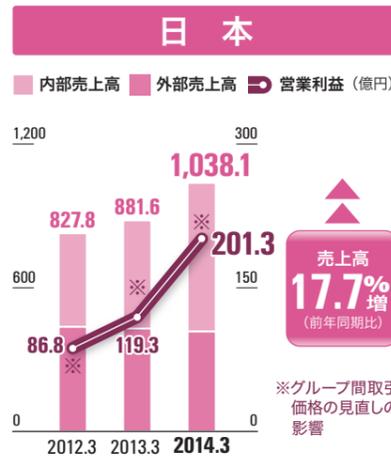
*フローサイトメトリー：細胞などの微粒子を流体中に細く流し、レーザー光などを用いて分析する手法のこと。

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

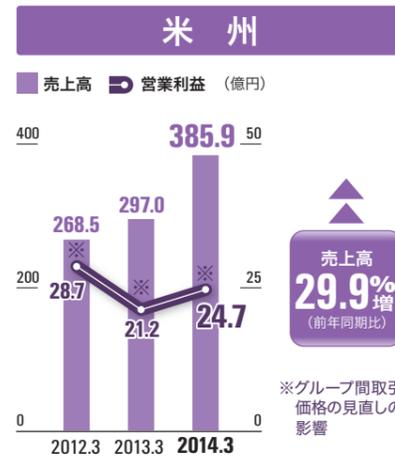
*糖鎖マーカー：糖タンパク質上に存在する「糖鎖」という物質の構造の変化から病状などを調べるバイオマーカー。



所在地別
セグメント



■ 内部売上高：関係会社への輸出など
■ 外部売上高：日本のほかに、IDEXX社向けなどの売上を含む。



現地通貨ベース 売上高 **7.7%増** (前年同期比)
営業利益 **3.5%減***

〈為替レート〉 (円)

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
1USドル	79.1	83.1	100.2
1ユーロ	109.0	107.2	134.4

1 国内の売上は横ばいとなったものの、海外関係会社向けの内部売上の増加や、グループ間取引価格の見直しの影響により、増収・増益となりました。

(注) 韓国代理店の子会社化に伴い、韓国は2014年3月期第1四半期より、日本からアジア・パシフィックへ所在地を変更しました。

1 米国では医療制度改革の本格施行に伴い、市場にも回復の兆しが見られ、機器・試薬売上の伸長や円安の影響により増収となりました。

2 増収効果が医療機器物品税の影響などを補い、増益となりました。

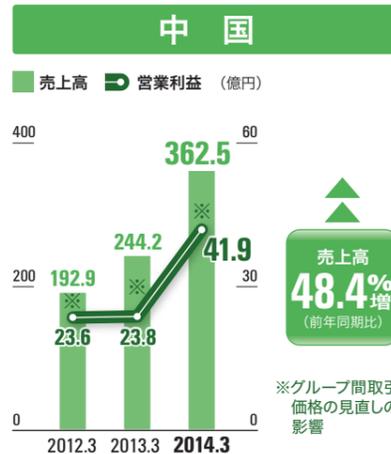


現地通貨ベース 売上高 **7.6%増** (前年同期比)
営業利益 **18.3%増**

1 主要5カ国*に加え、販売網を拡充したロシアなどでの伸長や円安の影響により、増収となりました。

2 増収効果と原価率の改善が、ビジネス拡大に伴う販管費の増加を補い、大幅な増益となりました。

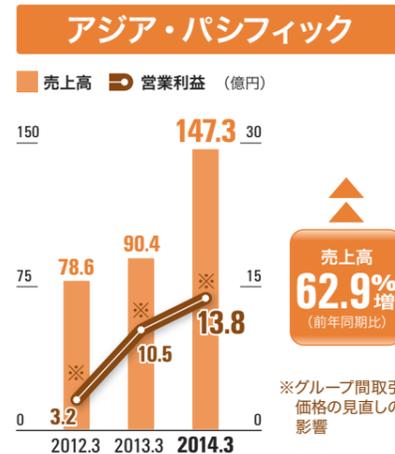
*イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン



現地通貨ベース 売上高 **20.0%増** (前年同期比)
営業利益 **42.3%増***

1 市場での販売停滞の影響が一部あるものの、ヘマトロジー分野*を中心に売上が伸長し、増収となりました。

2 増収効果がグループ間取引価格の見直しの影響や販管費の増加を補い、大幅な増益となりました。



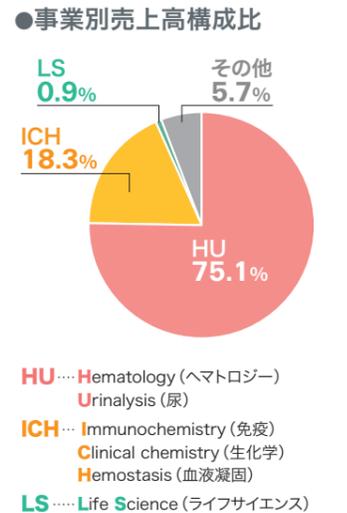
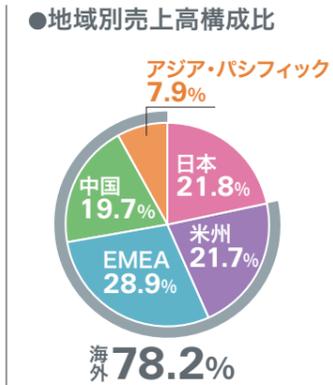
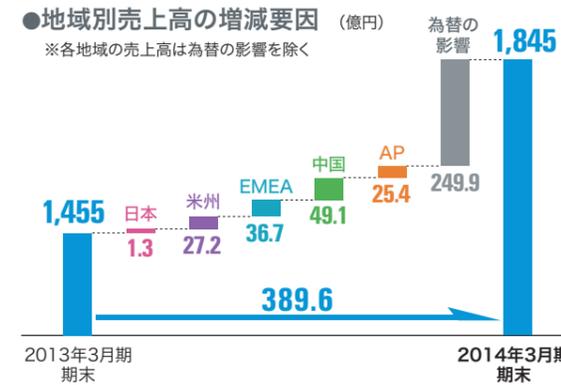
※アジア・パシフィックについては、2014年3月期より円貨のみの開示としています。

1 韓国やタイの直販化に加え、各国での売上が好調に推移し、大幅な増収となりました。

2 増収効果と原価率の改善が、グループ間取引価格の見直しの影響などを補い、大幅な増益となりました。

(注) 日本からモンゴルなどへの直接販売は、日本の外部売上高に含む。

地域別・事業別セグメント



グローバルレポート

経済成長が進むトルコに現地法人を設立

近年、人口の増加や生活水準の向上により、安定した経済成長が続いているトルコでは、高齢化の進展などに伴い、医療需要も増加しています。しかしながら、まだ十分な医療環境が整っているとは言えず、医療の質向上や効率性の改善、公平な医療サービスの提供など、医療環境の整備が国策のひとつに掲げられています。

このような市場環境に対応するため、当社は2014年1月に現地法人「シスメックス トルコ」をイスタンブールに設立し、4月に本格稼働を開始しました。今後はヘマトロジー分野のフラッグシップモデルである「XNシリーズ」の拡販や尿分野の新製品の導入を進めるとともに、新たにライフサイエンス分野に参入することで、ソリューション提案*を強化し、さらなるビジネスの拡大を図ります。

当社これまで、トルコでは代理店を通じて販売網を構築し、主力のヘマトロジー分野*を中心に販売・サービス活動を行ってきました。一方で、お客様の規模拡大に伴い、お客様とのより長期的・安定的な関係構築や提案力の強化が求められるようになってきました。

今後もシスメックスは、販売・サービス体制の整備や当社ならではのサービス&サポートを提供し、医療の発展に貢献していきます。

「シスメックス トルコ」が入居するオフィスビル

トルコにおける1人当たりの医療費の推移

出典：The World Bank, World Development Indicators (2014年発行)

*ソリューション提案：製品やサービス&サポートを組み合わせた提案によってお客様のニーズにお応えすること。

医療現場が求める 価値を追求して

シスメックスの主力であるヘマトロジー分野*の検査に革新的な価値をもたらした「XNシリーズ」。この製品はどのようにして生まれ、医療現場で高い評価を得ていったのか——。開発担当者や営業担当者の声を通して、4回シリーズでお伝えします。

多項目自動血球分析装置 XNシリーズ

2011年の発売以来、世界のヘマトロジー検査の現場で活躍するシスメックスのフラグシップモデルです。

HUビジネスユニット
ヘマトロジープロダクトエンジニアリング本部
副本部長 長井 孝明

POINT

多彩なバリエーションを実現する 「モジュラーコンセプト」

「モジュラーコンセプト」は、多様な製品形態で、お客様のさまざまなご要望にお応えします。例えば、1時間に100検体を測定できる分析装置を最大9台まで連結し、処理能力を向上できるほか、検体輸送装置、標本作成装置など個々の製品を自由自在に組み合わせることで多彩なラインナップを実現しました。



検査環境にあわせた
組み合わせを可能に

『私たちの技術は、命を守る医療関係者や、患者さんのため にあるもの。“革新のための技術”であってはなりません。』

より速く、より高精度に—— 限界への挑戦

研究開発者である私たちにとって、患者さんや医療機関により有用な製品を生み出し続けることは不変のテーマです。常に新しい価値の創出に取り組んでいますが、1999年に発売した自動血球分析装置「XEシリーズ*」を超える新製品

の開発は、難航を極めました。測定スピードをさらに速めながら、より正確に、より多くの項目を測定できるようにすることが目標だったからです。

「1台の製品で、これ以上の機能と性能を追求するのは、品質面でリスクが高すぎる」。そんな思いから、私は1枚のスケッチを描きました。その概念図には、のちの新製品「XNシリーズ」誕生のヒントとなるアイデアが描かれていたのです。



(左)開発当初に「XNシリーズ」のコンセプトを描いたスケッチ。(中央・右)「XNシリーズ」を使用した検査の様子。検体をセットするだけで、自動的に検査が行われます。

発想の転換が生んだコンセプトを 異分野のチームワークで形に

「1台で無理なら、2台をつなぎ合わせてみたらどうだろう」。それがスケッチに描いた考え方でした。しかし、「それで新製品と言えるだろうか?」という疑問が残りました。確かに2台をつなげば、処理能力は2倍になります。ただ、それだけでは、医療現場に求められる製品に育つとは思えませんでした。

煮え切らない思いのまま開発を進めていたある日、突然、ひとつのアイデアが舞い降りてきました。

「各病院で必要な測定項目ごとに組み合わせられる“モジュール(部品)”として設計したら——」。

発想の転換でした。「さまざまな機能を小さなモジュールに分離独立させ、お客様である医療現場のご要望に応じて、必要な機能を選べるようにする」。画期的な製品コンセプト

が誕生した瞬間でした。

この「モジュラーコンセプト」は、お客様の価値の向上とともに、製造工程の削減やメンテナンスの簡素化というメリットももたらしました。さらに製品化にあたっては、医療現場からニーズの高かった「検体の再検査」を自動で行う機能を搭載することにより、正確な検査結果をより迅速に患者さんにお返しすることが可能になりました。これは、電気、機械、ソフトウェア、流体、光学など、さまざまな分野の専門家が力を結集して研究開発を進めるシスメックスだからこそ成し得たことだと確信しています。

「XNシリーズ」は、新たなモジュールを追加することで、さらに進化していく製品です。あらゆる医療機関で「XNシリーズ」を活用していただけるよう、今後も研究開発を進めていきます。

➡ 次回は、「XNシリーズ」の臨床価値を向上させた
“試薬”に焦点をあててご紹介します。お楽しみに!

*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

*XEシリーズ: 21世紀の医療ニーズを見据えて開発されたマルチメディア対応の血液分析装置。1時間に150検体の測定が可能。

新製品「ASTRIM FIT」を発売

採血せずに血液中のヘモグロビン推定値を測定する装置「ASTRIM SU」は、アスリートのコンディション管理や食生活のアドバイスなど、さまざまな場面で活躍しています。「ASTRIM FIT」は、この「ASTRIM SU」をコンパクト化した新モデルで、さらに低価格を実現しました。これにより、場所を選ばず誰でも簡単に、指をかざすだけでヘモグロビン推定値を約40秒で測定できます。

より手軽で購入しやすい「ASTRIM FIT」はトップアスリートのみならず、2020年の東京オリンピックで活躍が期待される、若い世代の指導の場などへの活用拡大を目指しています。

コンパクトで使いやすいデザインが評価され、「2013年度グッドデザイン賞」を受賞しました。



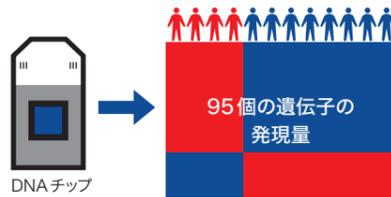
ASTRIM FIT

乳がんの再発を予測するための研究用データを提供開始

乳がんは、日本人女性に最も多いがんで、14人に1人が罹患する※とされており、近年、患者さんのQOL*向上が求められています。乳がんの治療においては、手術後の経過が良好にも関わらず、副作用の高い抗がん剤が投与されている例もあります。

本サービスは、大阪大学と共同開発したもので、乳がん組織中の95個の遺伝子の発現量を解析し、乳がんの再発リスクに関する研究用データを提供します。現在、このような受託サービスは欧米を中心に行われていますが、本サービスは国内で測定するため、迅速に結果を提供することが可能です。今後も乳がん分野において価値の高い検査の開発と普及に取り組み、患者さんのQOL向上に貢献していきます。

乳がん組織中の遺伝子発現量を解析



※出典：国立がん研究センター がん対策情報センター

「株主様会社見学会」を開催

3月10日(月)、3回目となる「株主様会社見学会」を開催しました。当日は多数の株主様に、当社の研究開発拠点であるテクノパークをご見学いただきました。参加された株主様からは、「普段見ることができない場所を見学できてよかった」「社長からの説明で事業内容がよくわかった」などのご感想をいただきました。



※応募者多数のため、抽選とさせていただきますことをご了承ください。

見学の様子

株式分割を実施

2014年3月31日最終の株主名簿に記載または記録された株主様の所有普通株式を、1株につき2株の割合で分割しました。投資単位当たりの金額を引き下げることで、株式の流動性を向上し、投資しやすい環境を整えることを目的としています。

ご購入シミュレーション(手数料などを除く)

当社参考株価	ご購入株式数	ご購入予算
3,570円 (2014/5/30時点)	100株(1単位)	35万7,000円

会社概要

(2014年3月31日現在)

- 商号 シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
- 設立年月日 1968年2月20日
- 資本金 102億4,327万円
- 格付け A+ (R&I: 格付投資情報センター)
- 従業員数 6,211名(連結) 2,230名(単独)
*嘱託・パートタイマーなどを含む
- 主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

役員 (2014年6月20日現在)

代表取締役会長兼社長	いづか ひさし	家次 恒
取締役 専務執行役員	はやし まさよし	林 正 好
取締役 常務執行役員	なか じゅん	中 島 幸 男
取締役 常務執行役員	たむら こうじ	田村 幸 嗣
取締役 常務執行役員	おのべ かずや	尾辺 和 也
取締役 常務執行役員	わたなべ みつる	渡辺 充
取締役 常務執行役員	あさの けん	浅野 薫
取締役 常務執行役員	たちばな けん	立花 健 治
取締役(社外)	にし すすむ	西 浦 進
常勤監査役	うら かつお	原 克 夫
常勤監査役	きた まさみ	北川 正 己
監査役(社外)	まへ くにあき	前 仲 邦 昭
監査役(社外)	おほ こういち	大 西 功 一
上席執行役員	いし ともあき	石 由 道 明
上席執行役員	こう たくし	こう 田 隆
執行役員	やま せいぞう	山本 純 三
執行役員	はま けい	浜口 行 雄
執行役員	まつ いわお	松井 石 根
執行役員	ふじ けいじ	藤本 敬 二
執行役員	おお いくお	大谷 育 男
執行役員	かま けい	釜 尾 幸 俊
執行役員	かみ ひろし	神 田 博 博
執行役員	なが ひろし	長 尾 博 司
執行役員	ジョン カースロー	John Kershaw

株式の状況

(2014年3月31日現在)

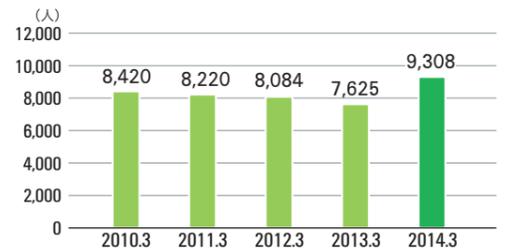
- 会社の発行可能株式総数 299,344,000株
- 発行済株式総数 103,776,816株

株価・出来高の推移 (2014年5月31日現在)

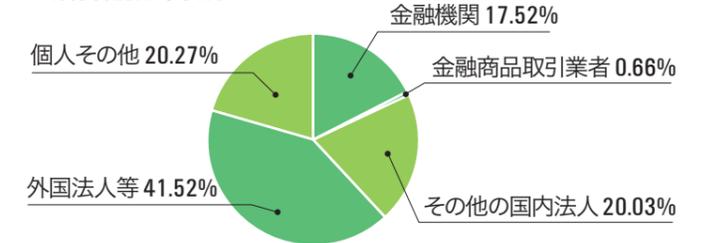
※1 2011年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。
※2 2014年4月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。



株主数の推移 (人)



所有者別分布状況



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 - 定時株主総会 6月
 - 基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。電子公告掲載ホームページアドレス www.sysmex.co.jp/ir/

お知らせ

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第1部
- 証券コード 6869
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先(郵便物送付先・電話照会先) 〒541-0044 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)

*QOL: Quality of life(クオリティ・オブ・ライフ)。「生活の質」という意味で、「人が人としての尊厳を保ち、より良く健康に生きること」を指します。

シスメックスは「神戸マラソン2014」を応援しています。



2014年11月23日(日)に開催される「第4回神戸マラソン」に特別協賛します。

大会テーマである「感謝と友情」には、阪神淡路大震災の復興に手を差し伸べていただいた皆様への感謝の気持ちが込められています。シスメックスはこの大会テーマに賛同し、第1回から特別協賛を続けています。また、第4回大会は、震災20周年のメモリアルイヤーとして開催されます。

大会では約2万人のランナーにゼッケンを提供するほか、同時開催の「神戸マラソンEXPO」への出展や、当社従業員によるボランティア支援などを予定しています。地元神戸の企業として、また、人々の健康を支える企業として、大会を全面的にサポートすることで、神戸から世界中にエールを送り、豊かな健康社会の実現に貢献したいと考えています。

名 称：第4回神戸マラソン
 大会テーマ：「感謝と友情」
 開 催 日：2014年11月23日(日)
 大会規模：約20,000人
 開催種目：マラソン、クォーターマラソン
 主 催：兵庫県／神戸市／兵庫県教育委員会／
 神戸市教育委員会／一般財団法人兵庫陸上競技協会

参加料の一部がチャリティとして、
 神戸マラソンフレンドシップバンクに寄付されます。



「シスメックス神戸マラソンスペシャルサイト」

参加されるランナーの皆様や応援される皆様、神戸やその近隣にお住まいの皆様と神戸マラソンを盛り上げ、ともに創り上げていくために、「シスメックス神戸マラソンスペシャルサイト」を開設しています。神戸マラソンについての詳細はもちろん、ランナーの皆様にとって必見のお役立ち情報や最新のトピックスをお届けしています。

<http://kobe-marathon.sysmex.co.jp/>

シスメックス神戸マラソン
 スペシャルサイト

